

第4回大台町立小学校のあり方検討委員会 報告書 【保育園代表及び小学校 PTA との懇談】 (日進小学校区)

アンケート結果では、保護者・一般ともに「基礎的学力の向上」と「安心して学べる学校づくり」を重視。教育環境では「安心して学校生活を送れる環境」「安全な通学」「教員の指導体制の充実」が上位で「多くの仲間と切磋琢磨できる環境」や、一般層では「地域の人とのつながり」も重視された。

(意見)

- 災害時の安心面が気になる。大きな病院や避難環境の有無なども含めて検討してほしい。三瀬谷地域に学校がある方が消防も病院も近くて保護者としては安心する。
- プール利用の衛生管理や当番の負担、設備の現状が気になる。不衛生に感じる。水質検査の実施状況や維持方法を知りたい。

児童数減少への対応（資料 4～6）では、統合に前向きが多数。統合時は「通学手段」「通学路の安全」「距離・時間」を重視、現状維持の場合は「少人数教育の充実」「安心・安全な学習環境」「交流学習の拡充」、一般では「複式学級に対応できる教員研修」も挙がった。

(意見)

- 仲間の人数が少ない学年がある。女の子5人のクラスで4人が仲良く遊んでいると1人は仲間外れされているように感じる。多くの仲間がいれば何とも思わないでの、たくさんの人数がいた方がいい。
- 統合時の通学はバスが想定されるが、乗降場所や待ち時間、安全対策、人数に応じた運行体制などを具体的に考えてほしい。
- 学童（放課後児童クラブ）の利用と帰りの足（バス運行など）の両立を検討してほしい。保護者の送迎負担が大きくなる可能性がある。
- 特に夏場の暑さ、山間部の動物出没など地域特性を考慮した安全対策が必要。
- スクールバスに乗ることによる体力の低下については、学校教育の中の取組でカバーしていくべきいい問題であって、通学で体力をつけることに対しては、特に心配はしていない。

再編規模（資料7）では「4校を2校に」が最多。地理・交通実態や将来児童数を踏まえた配置が必要

（意見）

- 全体児童数は4校でおよそ300人程度。単純に2校に分けると各校150人前後だが、学年の偏りや地域の距離感も考慮が必要。
- 日進・川添で1校、三瀬谷・宮川で1校という考え方があったが、将来的な人数を見ていると日進・川添だけではすぐに同じ状況になってしまう。
- 地理や交通の実態に沿った配置を検討してはどうか。
- 路線や道路事情によって距離は長くても所要時間が大きく変わらない区間もある。大杉から三瀬谷と日進から三瀬谷については、距離は違うが時間はそれほどかわらないのであれば、1校で考えてもいいのではないか。
- 将來の児童数の見通しは厳しく、今の川添の2歳児が2人しかいない。このままずっと2人のままならどうなのかなと思う。
- 日進小は児童数が少ないので良さとして、地域交流や田植え、芋掘りなどの課外学習が充実している。統合に反対というわけではないが、人数が増えても大切にしてほしい。